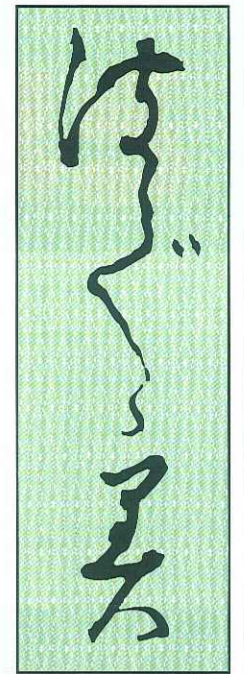


大分県PTA



発行所 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 責任者 疋田啓二 印刷所 大分市下郡3154の22 九州凸版印刷株式会社



http://www.oita-pta.com/

第9回 全単位PTA会長研修会

今求められるPTAとは

県PTA連合会全単位PTA会長研修



あいさつする疋田啓二県P連会長

県内の単位PTA会長が一堂に会し、単位PTAの研修活動を推進し、組織の推進役としての資質の向上を図ることを目的に毎年行われている。開会に際し、今年度から県P連会長に就任した疋田啓二会長があいさつ。「子どもたちが安心して安全に学校に通え、健全な家庭生活が送れるようサポートをしていくことが、私たちのPTA活動の目指すところだと思っている。」

PTA会長として どう動くべきか 進むべき方向は

第9回全単位PTA会長研修会が、8月1日(土)、大分県教育会館で開催された。テーマは「単P会長として見えてきたPTAリーダーのススメ! 会長って何するの?」 過去最多となる340名の出席のもと、各単P会長の意気込みが感じられる充実した会となった。

子どもたちを取り巻く環境、教育に対する法律など、かなりのスピードを上げて変化している今、子どもたちが迷わぬよう各単位PTAを、会長として牽引していただきたいと思う。県P連は、「子どもたちのために」を合言葉にしているが、なかでも安全・安心の確保が重要な課題である。そのための補償制度の推進に努めるとともに、各都市P連、各小中学校のPTA・

子どもに誇れる PTA活動

午前中の講話会は、大山公民館館長のワトソン・ロバート氏、元県P連副会長の和田俊二氏、有松一郎氏、総務省九州総合通信局情報通信部長の小野寺昭彦氏を講師に迎えた。各講師の豊富な経験から語られる内容を各会長たちは真摯に受け止めていた。



体験を語るワトソン・ロバート氏

日本のPTA活動に尽力されているワトソン・ロバート氏は「アメリカ人と日本人の考え方の違いに戸惑いもあったが、日本に来て良かったと思えたことが、もっと知りたいたい、もっとやってみたいという気持ちを生み、色々な関わりを持つことにつながった。PTA活動という経験をさせてもらったことに感謝している。しかし現在、PTA活動に関して保護者の関心が薄れている。私たち大人が何かの

またその他の会場でも、自らの体験談や現在の活動、アドバイスを語られた。○PTA会長である前に親として、子どもを大切にすることが大事。子どもと日々のコミュニケーションがとれているか。また会長はリーダーではあるが、縁の下で力持ちであることを忘れない。日頃から学校や他の役員と密に連絡を取り合い、課題を把握する。ただ行事をこなすのではなく進化して進歩する会長を目指して欲しい。○会長という同じ立場で相談し合える人間関係を築くため

PTA活動の推進力 今足りないものを考える

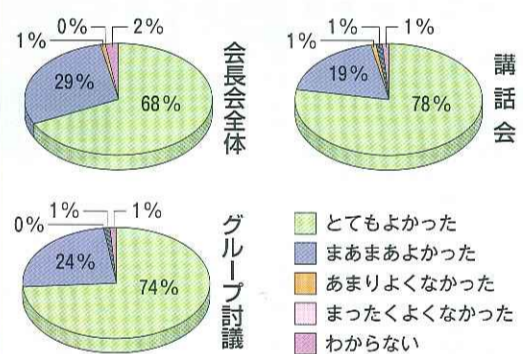
グループ討議では、小学校(小中連携校含む)13、中学校5グループに分かれて各司会者のもと活発な意見交換がなされた。



グループ討議の様子

単Pが抱える課題を通して、単P会長として求められる姿を理解し、これからのPTA運営に何が必要か再認識させる有意義な会となった。

事後アンケートの結果



意見・要望など

- 会長の心得を学び、参考になる情報が多くあった。資料もとてもよかった。
○県内各単位PTA会長が一堂に会する場があることがまず、素晴らしいことだと思う。
○講演会に多く参加するが、近頃の講演のなかで一番ためになった。
○グループ討議では共通課題も多くあり、よい話が聞けた。アドバイスももらった。
○グループ討議の時間がもっと長いほうがよい。
○会場の問題もあると思うが、グループ討議は個室でしないと内容が聞き取りづらい。
○できればもっと早い時期に開催してほしい。
○朝から夕方まで全体の時間が長すぎる。

研心北

▲8月24日 宮城県東松島市立大曲小学校を訪問した。

目的は国東半島発の全国夢文字コンテストに平成25年より応募して7回コンテストでは2年連続団体賞、特別賞3名銅賞1名。全児童290名中98名が応募。被災後なのにその熱心さの根源を確かめたかったのです。▲こういう時だからこそ、児童が家庭で夢を語り合いながらそれを形にする。とともに表現力や葉書に触れる習慣づくりを目指していると担当先生▲もう一つ伝達事もあったのです。初回より展示会場を提供下さっている大分航空ターミナル様よりの「千キロを結ぶ夢の絆を創っていきまいたい」との伝言です。6回コンテスト後にターミナル賞と団体賞受賞の児童と担当先生のお礼状が社長に届き、社長以下社あげて感激。被災に負けない地域と学校を応援したいと「被災地特別枠を是非設けて欲しい」と要望があり、そこで空港マスコットの「マーシャル君」に因んで「マーシャル君賞」と命名しました。これから東京大阪だけでなく、地方から地方への文化交流もできたらと思っています。これこそが国東半島あいのルネサンス連盟の本懐なのです。これこそが書写教育で培われた書写力が社会に役立つ人間性汎用に他なりません。▲震災の翌日から地元石巻日々新聞社は28名全社員が全力を挙げて取材し、油性ペンで手書きの壁新聞を発行した。今その6枚の壁新聞はワシントンのニュージウムに比類ない新聞として飾られていると▲文字やことは手で書くことは生活上、最も簡便な伝達法です。各家庭で新年の夢の語り合いを形にするために奮ってご応募下さい。

指定研究発表会

と地域の『協育力』

平成26・27年の2年間にわたり、県PTA連合会指定研究に取り組んできた3校の研究発表が行われた。家庭・学校・地域が連携することを重視し、子どもを中心として地域の特色を生かした活動の発表となった。2年間の継続的研究の成果が披露され、多くの参加者に感銘を与えた大会となった。

国東市立富来小学校PTA 10月31日 地域の未来に輝く笑顔

富来小学校は、来浦小・大恩小・富来小の3校が統合し3年目を迎える。昨年度より「目標協働達成モデル校」の指定を受け、家庭・学校・地域が教育目標を共有し、達成に向けての活動に取り組んでいる。午前中の公開授業では地域をキーワードに富来・国東に関連した活動を発表した。

子どもに伝える 地域力

一年生は、自分たちで拾ったどんぐり等の自然の素材を使い写真立てとコマを工作。国東文化協会の方々の指導のもと、どんぐりを額に貼りつけた写真立て作りやようじを使ったコマ作りを行った。保護者の手に頼らず自らの力で懸命に作成する姿が見られた。富来かかし会の方のきめ細やかな指導のもと、かかし作りにも挑戦した2年生。児童の体形より少し大きなかかしの体を2人がかりで抱え苦労しながら皆で作成した。サポートとして参加した保護者は「日頃できない経験を通して地域の方と子どもたちの触れ合いができたと思ふ」と感想を述べた。地域の方の知恵や工夫の素晴らしさを学ぶ体験となった。



タコに悪戦苦闘

PTA指定研究発表は、昭和24年県教委が始めたのをきっかけに始まった他県にはない大分県P連の特色ある事業である。現在は大分市より1単位PTAと、県南・県北の各郡市より2単位PTAを指定。2年間の研究の成果を公開発表し、今後のPTA活動の振興を図り、大きな成果をあげている。

「この地産地消の二品調理した。地元漁師であるゲストティーチャーから、ご当地料理を通して海の生き物や富来地区の食材のよさを学んだ。ブランド魚の銀たちや姫だこを調理した児童は「たこがヌルヌルしていた。特に頭がヌルヌルしていた」と丸ごと茹でたタコの感想を興奮気味に話した。また、「魚を三枚にするのが難しかったけどうまくできた」と包丁で魚をさばいたことに誇らしげな表情だった。実習を終えた児童は「おかわりをしたい程美味しかった」と感想を述べ、日頃料理をしてくださる方への感謝の気持ちを再認識した。

4年生は国見郷愛記念館館長より流木について学んだ後、流木アートに挑戦。のこぎりや木を切る事が初体験の児童も多く「初めは緊張したが、加傾向にある大規模校。平成16年に46学級1546名を数える日本一のマンモス校となったため、翌17年度に大分西小学校と分離。児童数は一時的に減少したが徐々に増え、近年中に1000人を超える見通し。現在は校舎建替中のため、限られたスペースのなか、体育館を会場として発表が行われた。

大分市立大在小学校PTA 11月15日 子ども1人1つものために

大分市立大在小学校PTA(児童数994名、会員数733名)は「みんなの力を集めて育む大在の宝」をテーマに、誰もが参加できるPTA活動を「目指して」を研究主題に公開発表を行った。

公開活動は「親子で学ぼう！自転車安全教室」を行った。研修部と父親の会が連携して行うこの父親講座は、大在PTA独自の企画。この日は、1年生から6年生までの希望者、14名の児童が参加。大分県交通安全協会の方から、近年の法改正に伴う自転車の交通ルールを教わった。その後、運転技術を身につけるための講習会が行



開会行事の様子

た後、全体会へと移り、各専門部から活動報告を行った。

地域と連携 保護者力

須股恵美子県教育庁社会教育課主任社会教育主事は「人が地域を育て、地域が人を育てる。それが社会の営みであり、教わることで人は学ぶ。地域の教育力、PTAの本気がみられた」と指導講評した。

「自転車に乗ることは簡単。しかし、乗りこなすには練習を積み重ねる必要がある。点検整備された自転車に乗ること、交通ルールを守ること、人に對する思いやりを持つことが大切」と、自転車のプロとして

「自転車の乗ることは簡単。しかし、乗りこなすには練習を積み重ねる必要がある。点検整備された自転車に乗ること、交通ルールを守ること、人に對する思いやりを持つことが大切」と、自転車のプロとして



地域の方に教わりながら

「自転車の乗ることは簡単。しかし、乗りこなすには練習を積み重ねる必要がある。点検整備された自転車に乗ること、交通ルールを守ること、人に對する思いやりを持つことが大切」と、自転車のプロとして

「自転車の乗ることは簡単。しかし、乗りこなすには練習を積み重ねる必要がある。点検整備された自転車に乗ること、交通ルールを守ること、人に對する思いやりを持つことが大切」と、自転車のプロとして



スラローム走行にチャレンジ!

地域の力で育む 大在の宝

研究主題による全体発表では、家庭・学校・地域の取組として興味深い事例が挙げられた。そのなかで、平成12年から始まり今年で15回目を数える「21世紀のびのび大在っ子体験塾」についての報告もあった。「これは都市型の宿泊通学体験で大分県では唯一の取組。異年齢の仲間と公民館に宿泊し、学校へ通う。3泊4日の期間のなかで、夕食作り、祭り囃子体験などの活動を通じて、自主性・協調性を養うとともに、家庭や地域社会の大切さを実感させる機会を作る。できることを少しずつサポートし、のべ1000人のボランティアが実際の生活・活動を支える。この活動は地域の力をあががたく感じられる活動」として地域の皆さんとともに今後も続けていきたい」と発表した。

研究主題による全体発表では、家庭・学校・地域の取組として興味深い事例が挙げられた。そのなかで、平成12年から始まり今年で15回目を数える「21世紀のびのび大在っ子体験塾」についての報告もあった。「これは都市型の宿泊通学体験で大分県では唯一の取組。異年齢の仲間と公民館に宿泊し、学校へ通う。3泊4日の期間のなかで、夕食作り、祭り囃子体験などの活動を通じて、自主性・協調性を養うとともに、家庭や地域社会の大切さを実感させる機会を作る。できることを少しずつサポートし、のべ1000人のボランティアが実際の生活・活動を支える。この活動は地域の力をあががたく感じられる活動」として地域の皆さんとともに今後も続けていきたい」と発表した。

保護者から言われ、単純な私は今日もカメラを片手に校内をぶらぶら巡っています。

校内をぶらぶら

保護者から言われ、単純な私は今日もカメラを片手に校内をぶらぶら巡っています。



毎日、入ると、生徒たちの全てのまなざしが指導者に向いて歌っている。私が入ってきたのは気付いているにも関わらず、その凛として歌っている姿。「保護者に見せたい」。赴任した4月の頃は、顔を隠す生徒が多かったのですが、このところシャッターを切る私の存在は空気のようになりつつあります。「昨日HP見たよ」と生徒から、「楽しみにしています」と保護者から言われ、単純な私は今日もカメラを片手に校内をぶらぶら巡っています。

中津市立 城北中学校 校長 貝ヶ石 知昭

平成26・27年度 大分県PTA連合会

相互に連携 家庭

豊後大野市立朝地小・中学校PTA 11月28日
連携による学びと育ち

豊後大野市立朝地小・中学校(連携型小・中一貫校)PTA(児童数112名・生徒数43名、会員数125名)は「深めよう『朝地の絆』」組織の統合によるPTA活動の活性化をめざして、「研究主題に公開発表を行った。」

地域とともに 深まる絆

校舎は朝地町産の木材を豊富に使用し、小・中学校で体育館や図書館などの施設を共有している。その特徴を最大限に生かし「連携型小・中一貫校」の公開発表を行った。



「シートを守れ」では、シートを班の陣地にして、班長の中学生が校長先生とじゃんけん対戦。負ければ全員が乗ったシートを折りたたんでいき、その陣地から班員がみ出せばゲームは終了となる。陣地が狭くなると体を寄せ合い、中学生が小学生を背負う姿や肩車をする姿も見られた。

午後の公開発表は各学年に分かれ行われた。小学1年生は、郷土が誇る朝倉文夫の猫の彫刻複製作品を直に触れ鑑賞。その後、粘土で猫の作品を作った。児童は「最初は顔のバランスが悪くてお母さんや朝倉記念館の先生に手伝ってもらって形が良くなり嬉しかった」と感想を発表した。小学2年生は、地域の「ドーナツ」を作った。材料のつまみは、地域の「畑の先生」から指導を受け、全校児童・生徒が協力して完成させた。

「次代を担う子どもたちの未来のために」
第63回日本PTA全国研究大会 札幌大会

全国よりPTA会員及び教育関係者8000人が集い、第63回日本PTA全国研究大会が「ひろがれ子の未来!」つながれ親力!今札幌から始まるこれからのPTA「」を大会スローガンに8月21、22日に札幌市で開催されました。

1日目は10の分科会に分かれ、特別第1分科会では「子の未来を知り、支援する保護者の力」を研究課題に、基調講演、実践発表、研究討議が行われました。市内の中学生による意見発表では、将来への悩み、不安、期待などが語られ、子どもたちの率直な意見に驚かされました。

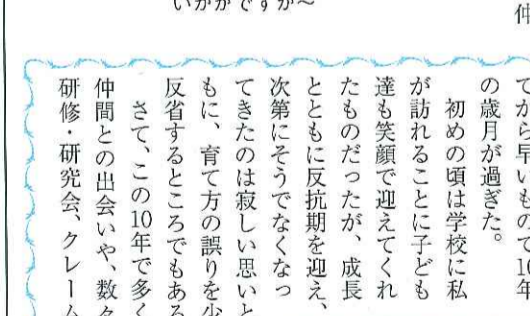
2日目の全大会では、脚本家倉本聰氏による記念講演が行われました。「あなたは子どもたちの想像力を育ててくれますか?」をテーマに、現代社会や保護者に対する「変わってほしくないもの」への熱い思いに、保護者として非常に考えさせられた講演でした。子どもたちの未来について語り合う2日間となり、2



全体会 会場前

「次代を担う子どもたちの未来のために」
第63回日本PTA全国研究大会 札幌大会

ものを作り、それを売って、対価を得る事の大変さや大切さを身をもって学ぶ機会。子どもたちは「大きな声で宣伝するのは恥ずかしいけど、振り返ってくれたのがうれしかった」と、「一番はじめに完売になって、がんばってよかった」と思った」と感想を語った。また、参加した保護者からは「子どもとのいい話題になっている」「のんびりし



いかがですか~

「親ジロ」
「大丈夫ですよ、何とかならますから。」先輩役員から「先輩役員から多いため若干の抵抗感はないが、それに見合う以上に得るものは非常に多い。仕事では味わえない充実感や、永く続くであろう大切な仲間が増えた事に感謝である。県P理事としての経験も価値ある活動だった。」
役員等への誘いに躊躇しているあなたへ、是非一歩前へ進まれることをお勧めします。共に頑張りますよ。

10年の値うち
豊後高田市PTA連合会
会長 小山 隆宏

アイディアを形に
「生き抜く力」再発見
第3回子ども屋台選手権2015



第3回子ども屋台選手権2015
子どもたちと一緒に、下級生と一緒にテキパキ仕事をしてくれてびっくりした」と、日頃見ることのできない子どもたちの姿に感動したようすだった。



できたかな?

質の維持と 継続のために
続いて研究発表が行われた。今年度発足した朝地小・中学校PTAは、小・中それぞれ



【ペア読書】あたたかな時間

を踏まえ、統合した組織の活性化を念頭にPTAで研究。「行動するPTA」を活動目標に、4あわせ運動の推進、学び環境の充実、朝地の絆の会の連携を行った。その具体的な取組を報告した。今後、PTA会員の減少が予想されるなか、どう活動の質を維持し継続するかが課題となる。地域全体での学校づくりを支援する「朝地の絆の

会」との連携を強化し、地域の核となるPTAづくりを目指していく。
宇都宮県教育庁社会教育課社会教育主事は「PTAを統合した活動には意義があった。保護者同士の学び合いのち合いもさらに深まったのは、地域の核となるには、子どももPTAも地域に出かけ活動の見える化を行う事が大事」と指導講評した。

平成29年度 第62回九州ブロックPTA研究会

大分大会



分科会

平成29年10月21日(土)
県内10会場で開催

全体会

平成29年10月22日(日)

大会ロゴマーク 募集

県内の全小・中学生から
大分大会のロゴマークを募集します!

応募期間

平成28年1月12日(火)～1月29日(金)

応募方法

- 上質紙(A4版)にデザインした原画を下記宛てに郵送してください。
- 詳しい応募方法は学校より配布ホームページにも掲載中!

【問合わせ先】

大分市大字下郡 496-38
大分県教育会館2階
大分県PTA連合会 事務局
TEL 097-556-9055



第60回九州ブロックPTA研究会
福岡市大会
60

「親子の絆を深め 共に育ち合うPTA活動」をテーマに財前安広P会長が提言発表。「全校児童36名、28家庭でPTAへの参加率も9割を超え」という小規模校の利点を生かし、親子、互いの顔が見える活動を行っている。中でも、親子の会話が生まれ絆が深まるのではと、「お手伝い」の取組を入れた。「お手伝い」を設けることで子どもたちのやる気を引き出し



第2分科会

「PTAを元気にする広報活動のあり方」をテーマに、研究テーマに四丸雄一郎広報部長が提言発表を行った。「年々児童やP会員数が減少していく中で、P活動の活性化を図ろうとH24年、総務部にこれまでなかった広報担当を設置。はじめての広報誌「あいさつ坂」を発行した。翌年には、PTAの活動を発信すること、保護者の生の声を届けることを目標に、広報部を独立。また、子育ての悩みについての座談会やネットモラル講演会を行い読み手

「PTAを元気にする広報活動のあり方」をテーマに、研究テーマに四丸雄一郎広報部長が提言発表を行った。「年々児童やP会員数が減少していく中で、P活動の活性化を図ろうとH24年、総務部にこれまでなかった広報担当を設置。はじめての広報誌「あいさつ坂」を発行した。翌年には、PTAの活動を発信すること、保護者の生の声を届けることを目標に、広報部を独立。また、子育ての悩みについての座談会やネットモラル講演会を行い読み手

「今こそ深めよう!! 学校・家庭・地域の絆 共に感じ、共に学び、共に育つ絆づくり」を大会スローガンに第60回九州ブロック研究大会が10月24・25日に開催。九州各県より約8500名(大分県からは474名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

親子のふれあいも増えた。さらに、お手伝いに限らず、料理や散歩など親子で一緒にできることに取り組むことで、親子のコミュニケーションが深まった。子どもたちは、お手伝いの成果を認められることで、達成感を得、できる喜びや家族の中で存在感を得ることができた。今後も家庭や地域のふれあいを大切に活動を行っていききたい」と報告。

「PTAを元気にする広報活動のあり方」をテーマに、研究テーマに四丸雄一郎広報部長が提言発表を行った。「年々児童やP会員数が減少していく中で、P活動の活性化を図ろうとH24年、総務部にこれまでなかった広報担当を設置。はじめての広報誌「あいさつ坂」を発行した。翌年には、PTAの活動を発信すること、保護者の生の声を届けることを目標に、広報部を独立。また、子育ての悩みについての座談会やネットモラル講演会を行い読み手

「PTAを元気にする広報活動のあり方」をテーマに、研究テーマに四丸雄一郎広報部長が提言発表を行った。「年々児童やP会員数が減少していく中で、P活動の活性化を図ろうとH24年、総務部にこれまでなかった広報担当を設置。はじめての広報誌「あいさつ坂」を発行した。翌年には、PTAの活動を発信すること、保護者の生の声を届けることを目標に、広報部を独立。また、子育ての悩みについての座談会やネットモラル講演会を行い読み手



第3分科会

第37回全国小・中学校PTA
広報紙コンクール表彰
(佳作)

佐伯市立渡町台小学校PTA

佐藤 直人(大分市)

大田宗一郎(大分市)

大分市立三郷小学校PTA

大分市立種田東中学校PTA

津久見市立青江小学校PTA

日本PTA会長表彰

おめでとうございます
平成27年度
優良PTA
功労者表彰

みんなが
がんがえる
コーナー

反抗期
どう接したらいいの? ③8

おばあちゃんの出番

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

大分県PTA連合会補償制度

平成28年度の学生・子ども総合保険は、補償内容を充実、パワーアップして平成28年2月1日より募集開始します。

申込期間:平成28年2月1日～平成28年3月31日
補償期間:平成28年4月1日～平成29年4月1日

保険にかかるお問い合わせ
はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館2F
0120-56-8993
(受付時間:月～金 9:00～17:00)

MS大分株式会社

事故にあわれた時のご連絡先
24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189

孫二人の行為を心配し、不安が消えない祖母が、新聞に投稿した相談記事を読み、思春期の子どもを支える態勢の一端を考えさせられました。

二人は、いとこ同士で小学校中学年の男女。年に数回、二人の息子とその孫たちが、祖父の家に集まり交流を温めている三世代。

こんな中、ある日、二人だけの部屋が気になった祖母がドアを開けてみると、バツの悪そうな表情と雰囲気から「お医者さんごっこ」だと見て取れたそうです。

夫は、「子ども時代はそんなものだと思うが、一応、気にかけて様子を見るようにする」と、二人の関係について静観の態度。

身をくっつけ合ってテレビ

みなで考えるコーナー 室長 岩尾 淳一

編集後記

娘に一人部屋を与えることに。母娘でインテリア、雑貨を選ぶ。幾つになっても楽しいひと時だ。準備は万端。心の準備は、もうひと息。(O)

今年もまた、起きられない冬がやってきた。一家そろって朝寝坊。仲良く慌てて、靴下が飛び交う朝。(K)

活字で伝える情景や心情に、思いばかりが先走り、なかなか進まぬ筆を持つ手。書いては消す繰り返しの日々、見聞を広めなければと反省。(N)

子どもたちのためにと始めた持久走。ふたを開ければ自分のため。一対一となる貴重な時間となった。今後も続けていく鍵はお互いのやる気。(T)

悩みを
聞かせて!

知っていますか?
子どもの人権

子どもの人権110番
(電話相談)
0120-007-110

子どもだけでなく大人も利用可能です。(通話無料)

子どもの人権SOS
ミレター
(手紙相談)

電話では相談しにくいことを学校で配布されたSOSミレターに書いて投函すると、ご希望の返信方法(手紙、電話)で、人権擁護委員や法務局職員から返信します(切手不要)。

大分県PTA連合会
大分県人権擁護委員会
お問合せ先
097-532-3368